

世界共通語になっている日本語が幾つかありますね。古くは「Samurai, Geisha, Fujiyama」あたりでしょうか、近年では「Sushi, Tsunami, Karaoke, Kawaii」などです。そして今「Ikigai(生き甲斐)」という言葉がその仲間に入ろうとしているのを皆さんはご存知ですか。

この世界的な「Ikigaiブーム」の火付け役は日本在住のスペイン人作家エクトル・ガルシアさん。彼が2016年にスペインの出版社から出し、その後49カ国語に翻訳され、現在世界で75万部以上売れている著書『IKIGAI - The Japanese secret to a long and happy life』の著者です。

私も先日英語版を購入しました。今世界中の多くの人が「人生をどうするか迷っている」自分探しをしている「時代」です。アメリカのミレニウム世代が「瞑想」に夢中になるように、東洋的な心の充足という価値観に注目が集まっています。ガルシアさんは「Ikigai」を一言で訳せる言葉がないと感じ概念図を作りました。

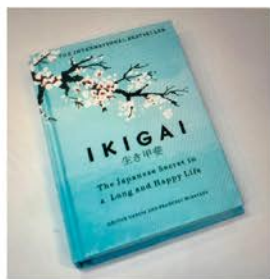
一番外に4つの円があり、「好きな事(What you LOVE)」「世界が求める事(What the world NEEDS)」「得意な事(What you are GOOD AT)」「お金を得ること(What you can be PAID FOR)」

世界でシェアされた「Ikigai」概念図



生き甲斐=Ikigai

文 朝倉匠子 text by Shoko Asakura



Profile

青山学院大学文学部英米文学科卒業
学生時代よりモデルとして活躍、その後テレビ司会、経済インタビューなどメディアで活躍し、渡米。カリフォルニア大学で「NPOマネジメント」及び「ジェロントロジー(加齢学)」を学び、帰国後「エイジングスペシャリスト」として活動を再開。アメリカでの学問を基に健康で幸せに年齢を積み重ねていく「アクティブエイジング」を提唱している。2002年スイスのオメガ社より社会に貢献する女性として緒方貞子氏、黒柳徹子氏、吉永小百合氏らと共に「オメガ賞」を受賞。現在NPO法人アンチエイジングネットワーク理事、母校青山学院大学ジェロントロジー研究所研究員、ヴォーカルグループ「The Fujiyama Sisters」リーダーと多岐の分野で活躍中。

(What the world NEEDS)「お金になる事(What you can be PAID FOR)」「得意な事(What you are good at)」。

そして4つの円が交わる場所に「情熱(PASSION)」「使命(MISSION)」「専門性(PROFESSION)」「天職(VOCATION)」。

すべての真ん中に「生き甲斐=Ikigai」となっています。

この図はSNSで世界中に拡散され、各地のコーチングや自己啓発のセミナーで使われているそうです。

私は昨年から母校青山学院大学のGerontology研究所で研究員として活動しています。我がグループのテーマは「Urban Gerontology」都会で老いる」です。今世界で注目を浴びる「Ikigai」をガルシアさんが事例にあげた沖繩の桃源郷ではなく、今後ますます人口が一局集中する東京圏で見出すためには何が必要なのか。「Ikigai」発祥の地「日本」の我々が見つけ出し、世界に発信できればと思っています。